

高島市の「水の文化」を学ぶ講座を開催

■ 昨年8月20日（日）、高島市観光物産プラザにて、「高島市の水の文化を学ぶ講座」を開催しました。この講座は、平成27年4月に、日本遺産の第1号として「琵琶湖とその水辺景観——祈りと暮らしの水遺産」が認定され、高島市では3つの重要文化的景観とともに白鬚神社やシコブチ信仰がその構成要素になったことから、市民の皆さんにもっと水の文化を知ってもらおうと開催したものです。

講座では、主催者4団体から各地域の紹介の後、「高島 水煌めく郷高島の日本遺産が照らす未来」と題した特別講演。講師は、元県立安土城考古博物館の元副館長で公益財団法人滋賀県文化財保護協会の大沼芳幸氏。大沼さんは、近江の歴史・考古学が専門で、「織田信長の目線」で見る日本遺産、随筆家「白洲正子の目線」で見る日本遺産を紹介。琵琶湖八珍の発案者としても知られる食通でもあります。

また、正傳寺南遺跡・針江中遺跡・針江北遺跡の発掘調査などにも直接携わっておられ、当地域の造詣が深く、隠れ「針江・霜降ファン？」でもあります。琵琶湖から霊亀にのって来られた正傳寺のお薬師さん（薬師如来坐像）のお話は、講演の中でもしばしば紹介されています。講演でも、私たちの身近な水にかかわる信仰や水の文化についてたいへん興味深いお話をいただきました。

主催：日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会高島地域協議会
 海津・西浜・知内地域文化的景観まちづくり協議会
 針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会
 大溝の水辺景観まちづくり協議会



はいっしも探索



カバタの改修

■重要文化的景観の構成要素となっているカバタの改修工事が行われました。焼杉板と柱の色合いがとてもきれいです。地区内の構成要素の改修は5件目で、カバタの改修は3件目となりました。改修には、国と市の助成金が活用されています。

霜降児童公園はどうなるの？



■長らく使われないまま、草刈り清掃だけが続けられてきた霜降区の児童公園を何とか活かさないものか？協議会で検討の結果関係者の了解も得て、重要文化的景観の構成要素である行者堂の一带も含め、水辺公園化することになりました。

高いフェンスが通行の圧迫要因にもなっていたのでこれを撤去し、すべり台や生い茂った草木を除去して見通しよく！公園には、サルスベリの木やモミジ、沈丁花、ドウダンツツジを植樹。今後は遊歩道をつくり、木の椅子なども配置し、ここを通行される皆さんが、“ちょっといっぷく”。行者堂に続くすてきな水辺空間をつくりたいと考えています。



針江大川が？タイヘンです！

■恒例の針江大川の掃除。例年通り第4回目は、3月はじめの日曜日。下流の組は、あっという間に終了してしまいました。というのも藻がほとんど生えていないからです。透明な水底に、コンクリートアームと泥砂がくっきり。もちろん魚影はまったくありません。あきらかに生態系が崩れています。



■冬場に藻が消滅する珍現象は、ここ数年めだってきており、雪がたいへん多かった昨年も、国道から下流は藻がすっかり消え失せてしまいました。少し前までは、川掃除がラクでいい！と、歓び向きもありましたが、さすがにこの現象が何年も続くと、ラクよりも心配が上回っています。鳥も、魚も、昆虫も、このままでは棲めない川になりそうです。

現在、針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会から、国土交通省高島市の関係部課に調査検討などを依頼していますが、効果的な方策が見えません。重要文化的景観「針江・霜降の水辺景観」を構成する、私たちの生活に無くてはならない大切な針江大川です。広く皆さまの知恵をお借りしたいと思います。

はいっしも information

守る。伝える。活かす。



針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会に、高島市より交付された国の助成金が活用されています。

＜平成29年度事業＞

- 水辺環境の整備事業
 - ◇ 川掃除の藻上げ重機・ダンプ借り上げ、水草処分など
 - ◇ 霜降会議所前の河川浚渫
 - ◇ 霜降児童公園の改修
 - ◇ 霜降会議所前の湧水（霜降かばた）整備
 - ◇ 看板類の設置



- 重要文化的景観整備・広報普及事業
 - ◇ 構成要素のカバタの改修の推進
 - ◇ 高島市重要文化的景観整備計画策定の推進
 - ◇ 「水の文化」を学ぶ講座の開催
 - ◇ ホームページ・広報紙の発行

●次年度も重要文化的景観／日本遺産の環境整備と活用のために、様々な事業を推進していきたいと思っております。関係する環境整備等で区民の皆様のご要望がありましたら、協議会役員までお知らせください。